

地方創生推進交付金事業の状況

既存ストックの活用による地方暮らしの推進

事業概要

人口減少や住宅・店舗等の郊外立地による空き家・空き店舗の増加、まちなかの低密度化といった課題解決のため、子育て世帯を主なターゲットとし、空き家・空き店舗等の既存ストックを有効活用しながら、雇用の創出や住まいに対する支援を含めた移住・定住促進策を講じるとともに、コンパクトなまちづくりに関する計画を策定し、持続可能なまちの形成を目指す。

平成29年度の実施内容

①地方暮らし情報PR

- 移住相談会への出展
- メディアでの情報発信
 - ・雑誌への広告掲載
- 桐生暮らし情報発信
 - ・パンフレットの作成

②地方暮らし体験事業

- 移住モニターツアーの実施
- 桐生暮らし体験
- 移住コンシェルジュによるサポート

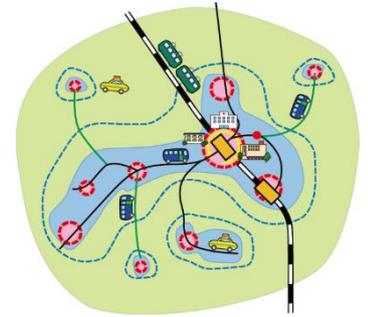
③職・住支援事業

- インキュベーションオフィス運営事業
- 小規模ビジネス育成事業
 - ・講演会やスキルアップ研修等の実施
- 創業チャレンジ支援事業
 - ・創業時に必要な事業所改修費用、設備、備品等に要する経費の一部を補助

④まちの活力創出事業

- 商店街活性化支援事業
 - ・商店街団体等が実施する各種事業に対する補助
- コンパクトシティ計画の立案
 - ・策定支援業務委託(外部人材招聘 等)

	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	709	712
H29年度	27,939	33,435
H30年度		26,981



「コンパクトシティ計画の策定」



「移住相談会」

「桐生暮らし体験ツアー」



「インキュベーションオフィス(東武ビル)」

KPI(重要業績評価指標)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
社会増減数(人減)	目標値	588	578	521	464
	実績値	(基準)	↑ 485	↓ 528	
新規創業者数(人) ※交付金事業による人数	目標値	13	14	16	18
	実績値	(基準)	↑ 18	↑ 28	
空き家・ 空き地バンク成約件数 (件)	目標値	18	20	23	27
	実績値	(基準)	↑ 37	↑ 46	

ヘリテージツーリズムによる桐生 & 足利の広域周遊観光促進事業『東武グループ連携～Happy Happy プロジェクト』

事業概要

首都圏や海外からの誘客を強化し、交流人口の拡大を図るため、東武グループ(東武鉄道・東武トップツアーズ)と連携しながら、桐生市と足利市の有する「日本遺産(Japan Heritage)」を核としたヘリテージツーリズムによる広域周遊観光促進事業を行う。

【両市の日本遺産】

- 桐生市：『かかあ天下ーぐんまの絹物語ー』
構成資産：白瀧神社、旧模範工場桐生燃糸合資会社事務所棟、桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区、後藤織物、織物参考館“紫”、桐生織物会館旧館
- 足利市：『近世日本の教育遺産群ー学ぶ心・礼節の本源ー』
構成資産：史跡足利学校

平成29年度の実施内容

- ①ビックデータを活用した交流人口調査事業
 - ・誘客ターゲット層の把握のため、ビックデータを活用するとともにアンケート調査を実施
- ②日本遺産周遊まちなかバス運行事業(※桐生市単独事業)
 - ・低速電動コミュニティバスMAYUによる日本遺産周遊コースの運行
- ③観光ガイド養成事業
 - ・多言語に対応したまち歩き観光ガイドの養成のため、研修等を実施
- ④ヘリテージツーリズム促進ファミトリップ事業
 - ・台湾、中国、香港のプロガー等を招聘するファミトリップツアーを実施し、SNS等で情報を発信
- ⑤海外向け海外PRPV制作及び映像による情報発信事業
 - ・台湾のテレビ番組とタイアップしたテレビ放映や海外向けPR動画視聴サイトで配信
- ⑥両市周遊化促進パンフレット作成事業
 - ・両市周遊を促進するため、「地球の歩き方」を作成し、首都圏の大手書店等での配布やインターネット上での無料配信を実施
- ⑦郷土伝統芸能八木節の映像資料作成及び上演事業
 - ・桐生八木節踊り方指南動画を日本語版、英語版で作成

※各事業は桐生市単独事業を除き、足利市との共同実施

「桐生市桐生新町伝統的建造物群保存地区」



「史跡足利学校」



地球の歩き方桐生 & 足利

	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	327(175)	300(150)
H29年度	21,660(12,584)	23,500(13,500)
H30年度		25,500(14,500)

※()内は桐生市分の事業費



「観光ガイド養成講座」



「桐生八木節踊り方指南動画」

KPI(重要業績評価指標)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
観光入込客数(外国人含む)(千人) ※桐生市と足利市の観光客入込客数の合計(1~12月)	目標値		7,504	7,603	7,702	7,801	7,900
	実績値	7,405 (基準)	↑ 8,413 (桐生市: 4,298 足利市: 4,115)	↑ 8,834 (桐生市: 4,078 足利市: 4,756)			
東武鉄道新桐生駅電動アシスト付自転車の利用件数(人)	目標値		210	250	310	390	490
	実績値	200 (基準)	↑ 238	↓ 215			
桐生足利周遊観光旅行商品の販売実績(人)	目標値		100	250	450	700	1,000
	実績値	0 (基準)	↑ 815	↑ 362			

赤城山観光振興のためのDMO振興事業

事業概要

赤城山山頂を中心とする豊かな自然環境や観光農園などの体験型観光資源、都心部から約2時間ほどで到着可能な立地条件を活かし、国が進める日本版DMO組織を中心とした観光地域づくりを進めるため、赤城山をフィールドとして環境活動を行う「特定非営利活動法人 赤城自然塾」を中心に、総合的な観光方針や共通の課題解決などを行う産官学連携体である「赤城山ツーリズム地元推進協議会」や地域関係者との連携を図りながら、地域資源を活用した多種多様なプログラムを作り、週末型・目的志向の体験型ツーリズムを確立するとともに、ブランドイメージの構築や旅行商品企画、インバウンド対策などを行う。

平成29年度の実施内容

【桐生市分交付対象事業】

- ①各種パンフレットの作成
- ②モニターツアーの実施
 - ・水源の森づくり体験ツアー

【前橋市との連携事業】

- ①DMO実施
 - ・DMO事業のマーケティングやマネジメント等の実施及び協賛企業募集活動
 - ・観光メニューの開発造成、ワンストップ販売システム開発、事業企画を立案及び実施
 - ・DMO企画協議会の運営
 - ・パンフレット等の作成

- ②多機能ポータルサイト運営・管理
 - ・DMO事業の広報活動拡大、海外向け発信開始
- ③登山マップ多国語対応の作成
- ④市場調査
 - ・専門家・有識者による赤城山ツーリズムに関わるデータ評価や解析を行い、ツーリズムメニュー開発等を実施
- ⑤モニター事業
 - ・目的別モニターツアーの実施
 - ・物産品や赤城山ツーリズムプロモーションの実施
 - ・体験プログラムの発掘や造成

	決算額 (千円)	交付対象事業額 (千円)
H28年度	5,440(0)	5,349(0)
H29年度	19,175(2,000)	18,960(2,000)
H30年度		18,460(2,000)

※()内は桐生市分の事業費



「モニターツアーのチラシ」



「ポータルサイト」



「赤城山情報誌「AKAGIFT」」

KPI(重要業績評価指標)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
赤城山大洞地区 観光客数(人)	目標値	540,000	542,000	548,000	553,000	558,000	563,000
	実績値	(基準)		↑ 549,485 ↓ 541,427			
赤城山温泉郷 入湯者数(人)	目標値	18,100	18,500	19,300	20,400	21,500	22,100
	実績値	(基準)		↓ 16,190 ↓ 15,315			
多機能ポータルサイト アクセス数(件)	目標値	0	0	30,000	45,000	55,000	65,000
	実績値	(基準)	未開設	↑ 34,043			